

トレンド提言

戦後 70 年という節目の年を省りみる

○戦争と平和

近代史を繙いてみる。文豪トルストイが『戦争と平和』を発表したのが 1860 年代。

そこにはナポレオンのロシア侵略による残虐さと併せて人の命の尊さが描かれている。

第一次世界大戦の犠牲者（1914～1918 年）は、戦闘員および民間人の犠牲者の総計として約 3,700 万人が記録されている。第一次世界大戦の二大陣営である連合国（協商国）および中央同盟国（同盟国）を合わせた犠牲者数は、戦死者 1,600 万人、戦傷者 2,000 万人以上を記録しており、これは人類の歴史上、最も犠牲者数が多い戦争の 1 つと位置付けられている。

第二次世界大戦（1939～1945 年）における連合国・枢軸国および中立国の軍人・民間人の被害者数の総計は 5,000 万～8,000 万人とされる。8,500 万人とする統計もある。当時の世界の人口の 2.5% 以上が被害者となった。また、これらには飢饉や病気の被害者数も含まれる。

（民間人の被害者数：3,800 万～5,500 万（飢饉病気によるものは 1,300 万～2,000 万）。
軍人の被害者数：2,200 万～2,500 万。捕虜としての死者数も含む。）

日本の侵略戦争終結は米国の広島、長崎への原爆投下に因るところ大であった。1949 年にはソ連も原爆を開発し、その後の冷戦時代（1961 年～1989 年）は皮肉にも米ソは核の保有による均衡が続いてきた。

ところで 20 世紀における戦争の惨禍を再び惹起させないため 1945 年国際連合が創設され、本年で 70 年を迎えた。

【国連憲章前文】

国連憲章の前文は、国連の創設に参加した国々のすべての人民が持つ理想と共通の目的を次のように表明している。

「われら連合国の人民は、われらの一生のうち二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い、基本的人権と人間の尊厳および価値と男女及び大小各国の同権とに関する信念を改めて確認し、正義と条約その他の国際法の源泉から生ずる義務の尊重とを維持することができる条件を確立し、一層大きな自由の中で社会的進歩と生活水準の向上とを促進すること、

並びに、このために、寛容を実行し、且つ、善良な隣人として互に平和に生活し、国際の平和および安全を維持するためにわれらの力を合わせ、共同の利益の場合を除く外は武力を用いないことを原則の受諾と方法の設定によって確保し、すべての人民の経済的及び社会的発達を促進するために国際機構を用いることを決意して、

これらの目的を達成するために、われらの努力を結集することに決定した。

よって、われらの各自の政府は、サンフランシスコ市に会合し、全権委任状を示してそれが良好妥当であると認められた代表者を通じて、この国際連合憲章に同意したので、ここに国際連合という国際機構を設ける。」

【国連憲章の目的と原則】

- ・ 国際の平和と安全を維持すること。
- ・ 人民の同権および自決の原則の尊重に基礎をおいて諸国間の友好関係を発展させること。
- ・ 経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決し、かつ人権および基本的自由の尊重を促進することについて協力すること。
- ・ これらの共通の目的を達成するにあたって諸国の行動を調和するための中心となること。

国際連合は次の原則にしたがって行動しなければならない。

- ・ 国連はすべての加盟国の主権平等の原則に基礎をおいている。

- ・すべての加盟国は憲章に従って負っている義務を誠実に履行しなければならない。
- ・加盟国は、国際紛争を平和的手段によって国際の平和および安全ならびに正義を危うくしないように解決しなければならない。
- ・加盟国はいかなる国に対しても武力による威嚇もしくは武力の行使を慎まなければならない。
- ・加盟国は、国連がこの憲章に従ってとるいかなる行動についてもあらゆる援助を与え、かつ国連の防止行動または強制行動の対象となっている国に対しては援助を慎まなければならない。
- ・憲章のいかなる規定も本質的に国の国内管轄権内にある事項に干渉する権限を国連に与えるものではない。

以上みたような国際的大原則があるにもかかわらず、地球上にはなお争いが絶えない。

シリアの内戦続く。ウクライナとロシアの紛争、アジアでは南沙諸島における中国の岩礁埋め立てをめぐる領土拡張問題による近隣国の中国脅威論高まりなどである。

端的に言えば国連で拒否権をもつ米・中・口の大国が国力を背景に領土、資源、食料等を支配しようとすることに争いの根源がある。

第三次世界大戦の勃発はあってはならないことだが、大国の指導者たちは近代史を直視し、平和を志向する戦略を立てることが強く求められるときである。

それにしても近年における紛争の特徴は IS 勢力の台頭である。

問題なのは彼等に対する資金や武器提供は誰が行っているのかである。

大国のダミーが提供しているとする説も有力である。武器輸出三原則を撤廃した日本製品も回り回って IS 勢力の手に渡ることはないのだろうか。

大切なことは核兵器の廃棄だけでなく、通常兵器の削減も急務である。

唯一の被爆国であるわが国は日本国憲法の平和原則を誇りとして世界平和を提言すべきである。命あってのもの種。平和あってのくらしと国づくりであることを確かめたい。

○民主主義の課題

民主主義とは国の主人公（主権者）は国民とする政治体制である。

古くは君主を主権者とする国々もあり、これを改め国民主権を実現するには長い歴史を要した（後記）。また世界の中には国民主権でない国もある。

民主主義の国における主権の行使と政府との関係については「government of the people, by the people, for the people」（1863年、ゲティスバーグスピーチ）がモデルとされている。

わが国では議院内閣制のもとに政府（内閣）が構成されているのだが、今年の政府の言動と国会の動向については多くの課題がみられた。

・「安保国会」にみる論議と強行採決

多数決による採決は民主主義の手段として認められているが、採決された内容については for the people となっているか。そしてそれにふさわしい論議がなされたのか大いに疑問がある。世論調査では国民の85%が論議不十分とし、理解できないとするものも60%となっている。

・2014年の衆院選の投票率は約52%、第一党の得票率は47%。有権者の1/4の支持で政権政党となり得る**選挙制度の非合理性**は今年も続いている。**少数による多数支配**である。

・選挙区と有権者数のアンバランスも最高裁の違憲、違憲状態の判断にもかかわらず、国会議員自身では改める気配なし。

・沖縄の基地問題（辺野古移転）については沖縄県民の圧倒的多数の反対にもかかわらず、政府は移転を強行している。

主権者の要求よりも日米関係重視の政策がとられている。

・民主主義を志向する国では政治と経済は理論的には分離して考えられるが、実体的には政経不可分となっている。相互依存関係にあるといえよう。わが国ではアベノミクスが推進されている。主権者の立場からするとくらしは向上しているか、子どもは健やかに成長する環境にあるか、勤労者の雇用条件（賃金等）の改善は進んでいるかなど課題は残る。

一方大企業の収益は高まり、内部留保（354兆円）も増加しており、強者と弱者間の格差は拡大していることも大きな課題となっている。

○民主主義、国民主権の歴史

- (イ) 近世初期のヨーロッパの絶対君主制では、この意味の主権は君主にあるとされ（君主主権主義）、そこでの政治のあり方は、最終的には、君主の意志によって決定されるという建前がとられた。絶対君主制に反対して起った民主主義は、この意味の主権を君主の手からひろく一般国民の手に移し、政治のあり方は、最終的には、国民全体の意志によって決定されるべきだという建前を主張した（**国民主権主義**）。18世紀のおわりにイギリスから独立したアメリカの諸州は、つよくこの国民主権主義を主張し、1776年7月4日の独立宣言や、それと前後した諸州の憲法は、いずれもこの旨を明文で定めたし、1789年8月26日のフランスの人権宣言（*Déclaration des Droits de l'Homme et du Citoyen*）も、これを定めた。以来民主主義の発達とともに、それは次第に有力になり、第一次世界戦争ののち、ドイツのヴァイマル憲法（1919年）が、「国権（*Staatsgewalt*）は、国民から発する」（ここに「国権」は「主権」の意味であった）と定めるにおよび、国民主権主義が、世界の大勢となるにいたった。
- (ロ) 日本では、1882年（明治15年）の主権論争において、自由党が主権在民（国民主権）を唱えたことがあったが、明治憲法は、これをみとめず、徹底的な君主主権（天皇主権）を採用した。

出所（『日本国憲法・コンメンタール』宮沢俊義）

現在の日本は日本国憲法第一条に「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、**主権の在する日本国民の総意に基く**」と国民主権の原則を定めている。

以上みたように国民主権、民主主義は長い歴史の中で構築されてきたものである。しかし権力者は古今東西民のための政治よりも支配者の権益を優先することを見逃してはならない。

民主主義を発展させるためには主権者たる国民自身の自覚と行動が欠かせないのである。今年の安保国会をめぐるようやく憲法を読み、立憲主義に関心を持った青年、学生たちも増えてきたことは民主主義の収穫だった。

子どもの貧困を考える

戦後 70 年を経た今日、子どもの貧困といわれてもピンとこない。

戦時中、戦後しばらくの間は弁当を持ってこられない子どもたちもいた。着物やカバンは兄や姉の払い下げが多かった。

今日では給食もあり、ボロボロの服を着ている子どもは見当たらない。

ところが、日本の子どもの 6 人に 1 人が貧困のもとで暮らしているという。

貧困とは①貧しくて生活が苦しいこと、②乏しくて欠けていること（広辞苑）とある。

専門家によると、「戦後の困窮時代を超えて、高度成長期の 1970 年代以降、日本の社会福祉の領域では貧困は過去の問題とされた。だが 2000 年代に入り、貧困は再発見された」という。（松本伊智朗、北海道大学大学院教授）

新たな貧困時代の到来というべきか。

なぜそうなのかについてはあらためて考えてみなければなるまい。

現状で言えることは概ね次のとおりだ。

- ・ 2000 年以前は世帯主の収入で子育てができた。
- ・ 子育ては両親だけでなく、祖父母も加勢した。また近所の人たちに助けられた。これは核家族の進行、地域社会の崩壊により今は昔となった。
- ・ 2000 年以降の新自由主義の流れは利己主義、拝金主義を助長し、競争主義のもとで、格差社会を推し進めている。

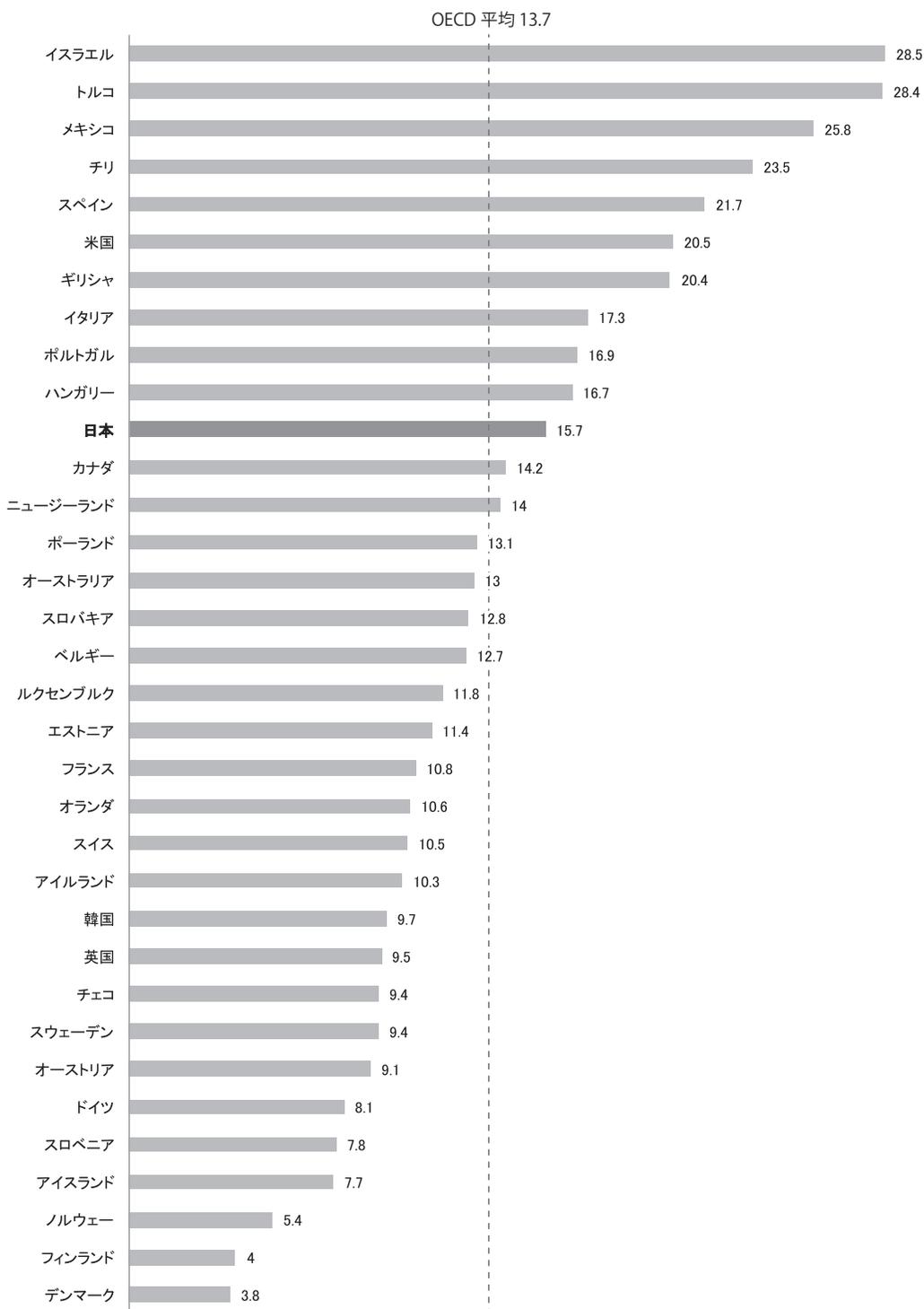
そこには「お互いさま」という日本人の美学は失われてしまった。

経済協力開発機構 (OECD) による子どもの貧困率の定義は次のとおりである。

【貧困率】 世帯収入から子どもを含めて一人ひとりの所得を試算し、その国でまん中の人の所得の半分に届かない人の割合。日本の場合、ひとり親など大人が 1 人の家庭に限ると 54.6% (2014 年発表) で、先進国のなかでも最悪の水準。

この定義によるランキングはグラフにみられるとおりである。

経済協力開発機構（OECD）加盟 34 カ国の子どもの貧困率



※ OECD が今年 10 月に公表した 2011 年前後での各国比較。日本は 09 年時点の 15.7% が用いられている。厚生労働省が昨年公表した 12 年の数値は 16.3%

貧困率の定義からすると、子どもの貧困は親の所得に因ることが分る。

2000年代から新たな子どもの貧困時代が始まったという前提の上で時代の推移をみると、小泉内閣のスタートが2000年であり、当時の社会保障政策、経済政策と無関係ではあるまい。

小泉内閣は規制緩和、官から民へを政策スローガンに掲げ、競争主義を煽り、各分野で自由化路線を推進した。

子育てに欠かせない保育所についても小泉内閣発足時以降、公営から民営化が推進された（表）。親の負担は増えた。民営化後保育料は値上げが続いている。

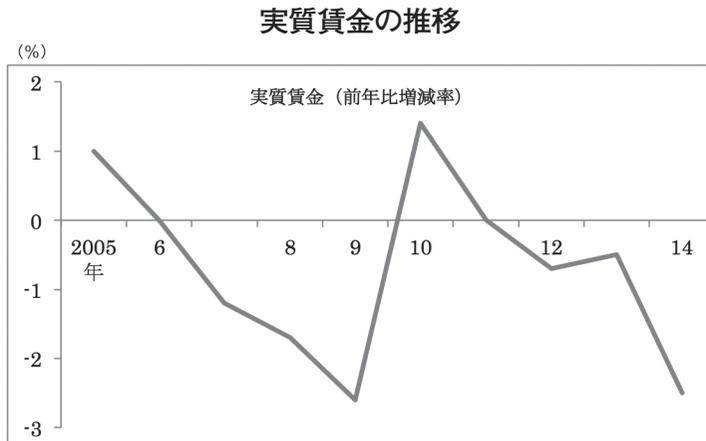
保育所数の年次推移

	0	5000	10000	15000	20000	(カ所) 25000
1960年		5,571	4,211	9,782		
1970年		8,582	5,236	13,818		
1980年		13,275			8,685	21,960
1985年		13,600			9,299	22,899
1991年		13,347			9,322	22,669
1995年		13,194			9,302	22,496
1996年		13,129			9,312	22,441
1997年		13,064			9,334	22,398
1998年		12,960			9,372	22,332
1999年		12,875			9,395	22,270
2000年		12,723			9,472	22,195
2001年	(公営)	12,589		(民営)	9,625	22,214

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉行政業務報告（福祉行政報告例）」

(注) 保育所入所人員については、98年までは措置人員をいう。

家計収入の推移についてもみてみよう。



正に子どもの貧困は「親の因果が子に報い可哀想なのはこの子でござる」である。

さて貧しさは古今東西ある。名言を紹介したい。

- ・「家貧しくして孝子顕る」（宝鑑）
- ・「家貧しくして親愛散じ、身病みて交遊罷む」（白居易）
（貧乏になると親しかった友人も寄り付かなくなる。長い病気をすると
友だちつき合いもとぎれてしまう）
- ・「家貧しくして良妻を想う」（史記）
- ・「貧すれば鈍する」（He that loses his goods loses his sense.）
- ・「貧は士の常」（列子）
- ・「貧乏人の子沢山」

以上見たように子どもの貧困は端的に言えば国の責任と言える。

日本や米国は子育てを市場経済に任せ、自己責任にしている。一方北欧諸国では教育問題であると共に社会保障の一環として位置づけている。政府は子どもは国にとって金の卵であることを忘れてはならない。

世相いろはかるた

2015年「世相を詠む」

今年もこの時期がやってきた。拙首を詠むのも27年になる。

この間に約1200余首詠んだことになる。

戦後70年を省みると、社会経済の変化は大きくそして速い。人の意思を伝えること、情報を交換する手段も様変わりした。手紙はメールに、電話はスマホ時代となった。

20代の男女の37%は異性の友を求めないという調査もある。

詩心、恋心はないのだろうか。あるにしても恋文は書かなくなったのではないだろうか。

百人一首のほとんどは恋心を詠んだものだが、三十一（みそいと）文字の短歌で表現されている。戦時中、戦地に赴く青年学徒の多くはその心境を短歌に託している。

これは日本文化であり、日本人の基礎素養でもあった。

現代社会の流れはこうした日本文化について今は昔と切り捨てようとしているとおもえる。

私はこの流れに強く抵抗したい。人情も愛も洒落も解せず、利便性と結果だけを追い求めるメール社会へのあり方に大いに疑問があるからである。

そこで今年も1年のできごとをキーワードに入れた拙首を詠むことに挑戦したい。

1年間のキーワードは独善的に選んだもので網羅できるものではないが、忘年会などの酒の肴にしていいただければ幸いである。

断っておくが、わが作品は作者がそうであるように、いうまでもなく和歌（短歌）の世界では規格外であることをご承知いただきたい。

ともあれ2015年版をご笑覧下さい。

2015年師走

詠み人 工藤 芳郎

い (あ) 祈りこめ キックにタックル 五郎丸
ラグビー日本 世界に 翔く

(イングランドで行われた W 杯で日本初めて三勝。
四本の指立て集中する五郎丸のポーズに拍手沸く)

ろ 露骨なる 助成金争い 政策なしに
モノ・カネ目当て 政治の貧困

(政党分裂、その焦点に政党助成金争いがあった。
政治家の資質が問われる。政治の貧困極まり)

は はじめから 汚れたカード マイナンバー
IT まかせ 元から正せ

(マイナンバー制度は年金の不正受給や脱税防止など行政手続きの便利
さがある一方、個人情報の流出が心配される中でスタートした。
制度を推進するには IT 関連企業の技術が求められる。
行政には専門家が少ないことが厚生労働省の中間管理職汚職の背
景にある。IT 特需のための制度にしてはならない)

に 日銀は 万券刷りて 借金大国
千兆のつけ 国民に廻すな

(国・自治体の借金合計は 1000 兆円を超え世界一の借金大国となっ
た。現政権には財政再建の意思も計画も見えない)

ほ 法律の 専門家なる 試験委員
教え子可愛さ 問題教える

(司法試験委員の明治大学教授、教え子に試験問題を指導し、教える)

へ 平穩に 生きたしと願う 諸国民
国民の声 届かぬ政治

(各国の権力者は国民の声に耳を傾けず、権益のために世界各国で
争いごとを止めない)

と 友だちの 思いやりなしに いじめ増え
こどもの悩み その根は深し

(2014年度の小・中学生のいじめの件数は18万8,057件(文部省)
中には自殺に至るケースも。原因、背景の解明は家庭、学校、社
会それぞれにある。国民的課題だ)

ち 中東の 権益争う 米口大国
テロ難民の 責め免れじ

(シリア、イラク、アフガンなどテロ、難民の発生に米口両大国の
責任は大きい)

り 倫理なし 政策もなし 智慧もなし
カネを求める 政治屋の群れ

(政治とカネの問題は戦後70年を超えてもなお治らぬ。政治の貧困
をなくすのは国民だ)

ぬ 塗りかえを 為さんとするか 米キューバ
カリブの海に 春の訪れ

(米国、キューバ国交正常化。アメリカ型の価値観を押し付けるの
ではなく、野球など共通点を拡大して相互交流、理解を深めても
らいたい)

る ルール無視 岩礁埋め立て わが領土
米中大国 アジア支配へ

(中国は南沙諸島海域の岩礁を埋め立て領土を主張。ベトナム、フィリピンとも領土、海域について争いがある中、埋め立て強硬は国際的に容認されていない。米国は航行の自由作戦としてイージス艦を航行させた。アジア太平洋地域についてこれまでの米国一国による支配は中国との分割支配時代になるか)

お(を) 大いなる 夢を持たせる 未来カー
くるま社会に 革新の風

(エコカー、人工知能による自動運転車、無人運転車など開発が進んでいる。2015年東京モーターショーにみる)

大空へ 国産ジェット 初飛行
安全便利さ 期待乗せて

(国産ジェット機MRJ(三菱・リージョナル・ジェット)初飛行)

わ 若者は 色恋求めず 留学ノー
一人で楽しむ ゲームセンター

(若者の37%は恋人は面倒、結婚の意欲なし。自分の時間がほしいという)

か 寛容と ユーモア政治の 塩じいは
庶民に惜しまれ 晩秋に逝く

(ユーモアあふれた塩川正十郎氏逝く 93才)

よ 世の中の 役に立たんと 大村博士
糟糠の妻と 大賞に輝く

(大村智北里大学栄誉教授にノーベル医学生理学賞。博士は妻と労苦を共にし、「イベルメクチン」を発見。アフリカなど河川盲目症の人4万人を失明から救った。社会貢献活動も広範囲に展開している)

た 大量の 難民に悩む EU 諸国
シリア内戦 武力に頼るな

(シリア内戦が原因で難民流出。その数は400万人とも。シリアの内戦を止めるには武力だけでは解決にはならない)

れ 列強の 抑圧に耐えた クルド族
3,000万の民 世界をさ迷う

(クルド人はクルドジスタン、トルコなどに住むイラン系アジア人。国を持たない最大の民族。もともと遊牧民だが、オスマントルコと英、仏戦で住む所を失った。独立志向も英、仏により裏切られた経緯があり、現在はトルコ、シリアはじめ世界各国に分散している。日本にも2,500人居住している)

そ 損得に 一喜一憂 乱高下
へそくりつぎ込む 主婦やあわれ

(政府は個人投資を勧めている。素人の投資はプロの投資にかなう筈はない。失敗しているひとも多い。そのことは誰にも言えないこと)

つ つるみ合い 公正装う 建設費
責任あいまい 五輪は傷つく

(東京オリンピックの新競技場建設費は白紙となったまま。
責任の所在は不明)

ね 寝るときも 電車の中でも スマホと共に
便利さの裏で 失われるものなしか

(スマホの普及 62.6% (平成 25 年総務省調べ) に)

な 内外の 批判は続く 靖国参拝
戦犯の霊 何処^{いずこ}で悼む

(閣僚、国会議員の靖国参拝については政教分離問題、戦犯等戦争
指導者への分祠の視点から内外の批判はきびしい。今秋も 71 人の
議員が参拝した)

ら 来年は ことしこそはと 38 年
拉致問題は 今年も年越し

(拉致問題、今年も未解決。横田めぐみさんが北朝鮮に拉致された
のは 1977 年 11 月 15 日だった。13 才の時)

む 無差別に 殺傷されし おきなんちゅう
日米のドン (首領) 屍忘るな

(沖縄戦の犠牲者は約 20 万人。米軍も 6 万 6,000 人。基地施設は
今なお眠る屍の上に築かれようとしている。
日米は基地の「県内ありき」を見直すべきだ)

う 海は鳴り 大地動きて 天荒れる
モノカネよりも 自然を崇めん

(異常気象が日常化した。竜巻は各地で起きる、海水温は上がり、北海道にも台風が襲う。温暖化問題に真剣に取り組まねばならない)

の 農産物 関税なくす TPP
日本農業 誰がまもるか

(TPPが発効すると農産物の全2,328品目のうち81%の関税が撤廃される)

く クリーン車を 売り物とした VW
排ガス不正 世界裏切る

(ドイツフォルクスワーゲンはディーゼル燃料でコストとクリーンが誇りだったが、実験時に比べて走行時で排ガス汚染度は40倍であることが判明。EUで800万台、アメリカで250万台、その他地域50万台が走っている)

や 野次怒号 強行採決 安保国会
平和揚げて 戦の道へ

(安保国会が残したものは自衛隊を交戦できる軍隊としたことだった)

ま マンションの 杭打ち偽装 不安広がる
下請けに強い 建設業界

(横浜市の大型マンション施工不良で傾いた。販売期限を遵守するため下請けはデータ流用などせざるを得ないという。この柱の工事は各地に広がりを見せている)

待ちわびし 新幹線は 北陸へ
観光ラッシュ ブリエビおどる

(北陸新幹線金沢まで開業)

け 県民の 意見も聞かず 基地移す
主権を壊す 日米政府

(日米両政府は沖縄県民の声を無視して普天間基地の辺野古移転を強行しようとしている。沖縄返還から43年だが、県民の主権はなお認められていない)

ふ 複雑な 日中関係 乗り越えて
爆買い重ね 理解深まる

(日中間の政情は両国権力者により人為的に対立関係が作り出されていないか。中国からの来日者が数百万人。友好と相互理解は深められている)

こ 国民の ゆうちょかんぽを 売りに出す
銀行あわて 株屋よろこぶ

(官から民へ、の総仕上げとしてゆう貯銀行、かんぽ生命上場となる)

国民を 総動員する 三本の矢
格差広がり 任侠忘るな

(アベノミクスの延長「三本の矢」はさらに格差拡大とならないか。政治の心は強きをくじき弱きを助ける任侠ではないか。1億総活躍とは1億総動員。「1億総決起」という戦時下のスローガンを想起する)

え (系) エスカレート 混乱深まる 内戦シリア
避難民増え EU 悩む

(シリアの内戦状況続く。難民 700 万、海外避難民 400 万とも。避難民受け入れはドイツなど EU 諸国が中心だが限界にきている)

て ていねいに 説明の約束 安倍政権
問題山積 国会開かず

(安保問題、TPP、辺野古移転問題など問題は山積している。憲法第 53 条では「両院のいずれかの 1/4 の要求があれば内閣は国会を開かなければならない」とあるがこれを無視して正月を迎える)

あ あらたまの 年にあたりて 陛下の願い
70 年の節目に 歴史学ばん

(今年の一般参賀で天皇陛下は本年は終戦から 70 年という年にあたります (中略) この機会に満州事変に始まるこの戦争の歴史を十分に学ぶことが大切~) と呼びかけられた)

IS の報復テロで パリ燃ゆる
三色旗高く 連鎖断ち切れ

(11月13日(金)、パリはISテロに襲われた。フランスは自由平等博愛の精神を建前だけでなく広く他民族にも浸透させ報復と暴力の連鎖を断ち切るべきだ。有志連合による武力攻撃だけでテロを撲滅することはできない)

さ サッカーの ファン裏切る FIFA 幹部
金権スポーツ 世論で蹴飛ばせ

(FIFAの会長選挙には莫大なカネが動く。スポーツのフェア精神にもとることだ)

き 競争が 目的化し この世では
勝者に愛なし 格差広がる

(1日125ドル未満で暮らす極貧層は今も8億人があえいでいる。小学校に通えない子が6,670万人。5才までに死亡する子は年に600万人。大国の勝者に愛はないのか。日本でも子供の貧困率は高くなっている)

ゆ 行き過ぎだ 競争社会の 成れの果て
下請け孫請け 弱者にしわ寄せ

(大手不動産販売会社、建設会社の下請け マンション建設杭打ち偽装で建物傾く。行き過ぎた競争社会は氷山の一角ではないか)

め めんどうな 手続きとなる 軽減税
政権の都合 社会保障削るな

(消費税の軽減税率問題が課題となっている。
そもそも消費税導入は社会保障との一体改革ではなかったか。国民の人気取りの減税論には問題がある)

み 民主主義と平和を揚げて 70年
国連の壁 拒否権にあり

(国連が創設されて70年。この間一定の役割を果たしてきたが、5大国の拒否権が民主主義と平和の実現を妨げてきた。国連改革は拒否権をなくすことだ)

し 少年の 夢打ち砕く 黒い霧
監督変えて うやむやにするな

(巨人3投手賭博認める。原監督辞任)

ひ 被災地は 人手不足で 復興成らず
不信の政界 人材不足

(改造内閣では震災復興大臣に「下着ドロ」の噂ある議員。農水相には「黒い交際」と報じられている議員を登用した。人材難とみられる)

も もの忘れ 徘徊家出 いきだおれ
長寿社会の 悲劇増えゆく

(認知症の人は2020年には460万人に増え認知症の家出、行方不明者は1万783人(2004年)という。核家族化に始まり地域社会の崩壊、高齢者ホーム不足、介護人不足など長寿社会をめぐる課題は多い)

せ 成人を 前倒しにした 参政権
18才の自覚 投票に見たし

(参政権は18歳からとなった。その効果が期待される)

選択の 自由化めさず 電気ガス
安定供給 使命忘るな

(電力・ガスの自由化来年から実施となる)

す すばらしき 科学者2人 ノーベル賞
科学技術は 日本の誇り

(大村智北里大学栄誉教授と東京大学宇宙線研究所教授がそれぞれ医学生理学賞、物理学賞のノーベル賞に輝いた。

利益至上主義が横行する現代社会の中で今秋のノーベル賞に輝いた功績と生きざまには久しぶりの感動を覚えた。その美学に学びたい。国際競争は武力ではなく科学技術で勝負したい)